



請願の趣旨

田村駅舎改築問題は、南長浜地域全体の計画的な市街化を誘導するため、関係する基本構想及び基本計画の策定をはじめ、上位計画等である『長浜市総合計画』『長浜市都市計画マスタープラン』『長浜市まち・ひと・しごと創生総合戦略』を策定する中で、人口流出を止めるダム機能と、市への流入を受け入れる機能を持った都市拠点として位置付けられ、田村駅舎改築は周辺地域整備の中心的事業です。また、私たち周辺の住民や関係団体も当該基本構想及び基本計画の策定に当たっては、その検討を進めて来た推進会議のメンバーでもあります。

そうした中、今回唐突にこの基本計画の事業スケジュールに基づき進められていた、田村駅舎改築に係るJR西日本との協議が頓挫し、市での「今後も粘り強く協議を進める」等の報道(1/22)を知りました。このことは2025年夏には完成された駅舎を利用して、長浜バイオ大学ドームで開催される国民スポーツ大会において、多数の来場者を安全安心な駅利用の環境の中でお迎えし、更には東部の神田スマートインターチェンジとの連携も図り、正に南長浜地域全体の市街化推進に大きな弾みが付くと期待していたことが水泡に帰し、地域全体がただ愕然としているのが今日の状況です。

今回、JR西日本との協議が整わなかった要因としては、駅利用者数が改善されないまま3,000人/日未満であること、北陸線自体が赤字経営で投資効果が見込めないこと、老朽化はしているが安全性に問題はないとのこと、更にはコロナ禍でJR西日本全体が経営不振に陥っていることが挙げられています。

長浜市では、「今後は駅舎改築を待たずに駅前広場や都市計画道路の整備、民間開発の誘導を前倒しで取り組む」とコメントされていますが、南長浜地域の計画的な市街化は、田村駅舎改築の明確な見通しがあって推進されるものと考えています。

つきましては、南長浜地域全体のまちづくりに対する長浜市の基本計画への確固たる推進への思いが、JR西日本へ真摯に伝わるのが第一であることから、交渉への阻害要因となっている次の事項について早急に検討実施を行うとともに、再交渉されるよう請願致します。

請願事項

- (1) 田村駅利用者(乗降客)数3,000人/日以上達成に向けてあらゆる手法を用い、全庁挙げて(民間団体への乗車要請含む)取り組まれない。併せて、法に基づく駅バリアフリー化への取り組みを進められたい。
- (2) プラットホームの老朽化は著しく、屋根部分に支柱が設置されていることから明白であり、またホームの一部が幅2m未満の部分でもあり、国民スポーツ大会(相撲競技)において、来場者を安全に受け入れることが出来るとは到底思えなく、JR西日本に対し安全性の確保について再度訴えられたい。推進会議のメンバーには滋賀県も加わっていることから、併せて県とも協議されたい。
- (3) 今回の改築問題には色々な要因が存在するとは言え、地域周辺の住民や関係団体にとっては看過出来る状況ではありません。長浜市として上記(1)(2)への対応も含め、人口流出を止めるダム機能を持たせる事業としての重要性を再考し、田村駅舎改築事業に係る負担割合の見直しも行うとともに、JR西日本に対し当初計画の通り駅舎改築の早期実現に向け再交渉されたい。以上